「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集：FXニュースレター　　執筆担当：斎藤登美夫

▼▲▼

◇◆◇　No.0475　◇◆◇　　18/03/22

【　今年の第１四半期、ドル/円などは「やや静か」　】

今年も、あと１週間ほどで最初の四半期を終了する。つまり、早くも４分の１が経過するわけだが、ドル/円をはじめとする幾つかの主要通貨ペアについて、どんな動きをたどってきたのか、年初来の動静を一度振り返っておきたい。
ちなみに、変動率の観点から見てみると、ドル/円は変動幅が 8.15 円で、変動率が 7.23%と「まあまあ」の値動き。しかし、「年間変動率が１ケタ台」――という歴史的な小変動に留まった昨年も、最初の四半期は変動幅 7.01 円、変動率 6.00%と、それなりに動いていた。昨年の二の舞を踏まないよう、今年はここからさらなる動意づくことが出来るのか、本当の勝負のときを迎えそうだ。

◎ユーロ絡みの通貨ペアはとくに小変動、期待される「巻き返し」

まずは、筆者の使用しているデータを参考に、ドル/円とユーロ/ドル、ユーロ/円という三極通貨ペアについて今年ここまでの変動幅と変動率を算出してみた。具体的には３月 21 日現在、ドル/円が先でも指摘したとおりで、ユーロ/ドルは同 0.0639 ドル、同 5.32%、ユーロ/円は同 8.15 円、6.03%となる。
年明け以降、まだ ３ ヵ月も経っていないタイミングなので仕方ないというイクスキューズはあるものの、過去の平均的な年間変動率である 16.9-18.2%と比較すると、だいぶ見劣りすることは明らかだ。今年の為替市場は、比較的静かなスタートとなっている感を否めない。

なかでも、ユーロ/ドルとユーロ/円、ユーロ絡みの通貨ペアの動きの鈍さが目に付くだろう。
実際、昨年の同時期よりは変動幅、変動率とも上回っているが、過去５年では昨年に次ぐ２番目の小変動に留まっている。先で、ドル/円について「昨年の二の舞を踏まないよう、今年はここからさらなる動意づくことが出来るのか、本当の勝負時」――と指摘したが、ユーロ絡みの通貨ペアに関しても同様で、今後の巻き返し、大相場の到来を是非とも期待したい。

一方で、材料的な要因を考えると、今年は年初から、なかなか大きな材料が相次いだ気がしないでもない。
実際に幾つか例を挙げると、米国は「トランプ大統領による保護主義政策導入の鮮明化」「相次ぐ閣僚などの辞任を受けた政権運営不安」「FRB議長の交代」、日本は「モリカケ問題を受け、盤石と見られた安倍政権への信頼感低下」と「北朝鮮情勢不安」、そして欧州は「ドイツ連立政権樹立をめぐるゴタゴタ」、「イタリアやロシアなどで重要選挙実施」――などとなる。そうした状況にもかかわらず、変動率からすると、1-3 月の為替市場の反応はやや鈍かったと言えるだろう。

したがって、これから先は何を材料にマーケットが動意付くのか、予想がしにくいけれど、「5 月までに史上初の米朝首脳会談」が実施される見込みであるほか、10 月ごろには「英国とEUの離脱交渉が終了予定」となっている。また、11 月初旬には、今年最大の注目要因と言ってもよい「米中間選挙」が行われる予定だ。
先で指摘したように、1-3 月は重要材料が為替の変動に直結しないという状況が往々にして見られたが、この先まだまだ重要なイベントは幾つも予定されている。マーケット参加者のひとりとしても、ここからの「リベンジ」を是非とも期待してみたい。（了）

ドル／円の年間変動率

	OPEN	LOW	HIGH	CLOSE	変動幅	変動率
2010	92.75	80.23	94.99	81.13	14.76	15.91
2011	81.14	75.57	85.53	76.90	9.96	12.28
2012	77.06	76.02	86.79	86.74	10.77	13.98
2013	86.61	86.54	105.41	105.26	18.87	21.79
2014	105.33	100.76	121.84	119.88	21.08	20.01
2015	119.89	115.85	125.86	120.20	10.01	8.35
2016	120.32	99.00	121.89	117.03	22.89	18.86
2017	116.75	107.32	118.60	112.89	11.28	9.66
2018	112.65	105.25	113.40		8.15	7.23
平均					16.88	16.88

ユーロ／ドルの年間変動率

	OPEN	LOW	HIGH	CLOSE	変動幅	変動率
2010	1.4316	1.1876	1.4560	1.3391	0.2704	18.89
2011	1.3357	1.2836	1.4940	1.2949	0.2082	15.59
2012	1.2945	1.2042	1.3486	1.3195	0.1444	11.15
2013	1.3197	1.2998	1.3894	1.3742	0.0896	6.79
2014	1.3759	1.2097	1.3995	1.2098	0.1898	13.78
2015	1.2088	1.0462	1.2103	1.0865	0.1841	13.58
2016	1.0852	1.0352	1.1616	1.0524	0.1264	11.65
2017	1.0523	1.0340	1.2092	1.2003	0.1752	16.65
2018	1.2005	1.1916	1.2555		0.0639	5.32
平均					0.1994	16.28

ユーロ／円の年間変動率

	OPEN	LOW	HIGH	CLOSE	変動幅	変動率
2010	132.78	105.42	134.37	108.82	28.95	21.80
2011	108.35	99.47	123.32	99.58	23.85	22.01
2012	99.75	94.11	114.87	114.45	20.58	20.61
2013	114.29	113.64	145.67	144.83	32.03	28.03
2014	144.92	134.14	149.55	144.79	15.41	10.63
2015	144.92	126.08	145.32	130.80	19.24	13.28
2016	130.57	109.30	132.32	123.25	23.02	17.63
2017	122.88	114.85	135.51	135.26	20.66	16.81
2018	133.25	129.35	137.50		8.15	6.03
平均					24.38	18.05

＊注：変動率は「変動幅／OPEN」
2018は3/21までのデータを使用し平均には含まず

▼▲▼

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

◆◇◆　Copyright　(C)　fx-newsletter limited　company All Rights Reserved　◆◇◆